

コロナ禍をふまえた三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けた取組について

コロナ禍だからこそ、安全・安心に国体・大会を開催できるという、新しい両大会の姿を三重から示し、スポーツの持つ素晴らしさや、夢と希望、勇気を県民の皆さんに届けるという使命感を持って、“オール三重”で取組を進めます。

1 基本的な考え方

「選手ファースト」、「安全・安心な大会運営」、「両大会の価値の新たなかたちでの創造」の3つの視点から、これまで以上に創意工夫を凝らし、コロナ禍にあっても安全・安心に開催できる、新しい両大会を目指します。

①選手ファースト

選手自らの力を存分に発揮できる安全・快適な環境の準備

②安全・安心な大会運営

選手、関係者、観客、県民の皆さんが安心して競技会を観戦、応援、参加できる大会運営

③両大会の価値の新たなかたちでの創造

コロナ禍にあっても、国体の基本方針である県民力の結集や多様な魅力発信ができる大会

2 開・閉会式について

(1) 会場

密を防ぐ目的から、三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場で8,000人を予定していた観覧者を300人に縮小し、①競技会への影響の排除、②徹底した感染防止対策、③選手や観覧者等の削減、による感染リスクの低減を踏まえつつ、多様な式典演出に対応できる、三重県総合文化センターで実施します。

また、「開・閉会式における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン（仮称）」を今年度内に策定する予定です。

(2) 式典

規模を縮小して実施するだけでなく、選手を式典メイン会場から分離し、安全・安心を確保したうえで、デジタル技術等を活用して両大会への想いや感動を伝えるなど、前例にとられない、史上初となる「オンライン式典」を実施します。



※イメージ（会場の物理的、技術的制約により変更となる可能性あり）

3 競技会について

(1) 三重とこわか国体

昨年11月、競技会運営において実施することが望ましい標準的な感染防止対策をとりまとめた「三重とこわか国体競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を策定しました。当該ガイドラインについては、今後の感染状況の変化に応じて適時適切に見直すなど、実効性を確保しつつ、市町及び競技団体とともに、安全・安心な競技会運営に向けて取り組みます。

また、「第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金」、「競技別リハーサル大会補助金」、「会場地市町運営交付金（仮称）」（令和3年4月制度施行予定）の3つの財政的支援制度により、市町等を支援します。

(2) 三重とこわか大会

令和3年2月、参加・来場される方の障がい特性等にも配慮した、「三重とこわか大会競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を策定しました。今後、このガイドラインに基づき、市町及び競技運営主管団体とともに、安全・安心な競技会運営に向けて取り組みます。

4 県民力結集に向けた取組について

(1) 情報発信

県政だより、テレビ広報、広報誌などの媒体を活用し、両大会に向けて頑張っている三重県選手の紹介や、競技の見どころなどの情報を発信することで、県民の皆さんの応援ムードを高めていきます。

テレビやSNS等のメディアを活用して、県民の皆さんに選手やチームの姿を伝えるとともに、県民の皆さんの応援の声を届ける、双方向の仕組みを取り入れます。

国体インターネット動画配信サービス「国体チャンネル」において、全競技会の決勝戦を配信します。また、市町の協力をいただきながら、少しでも多くの競技を配信していきます。

(2) とこわか運動

両大会を盛り上げていただく県民の皆さんの活動である「とこわか運動」は、学校や企業などさまざまな団体に取り組んでいただいております。県内全域に広がっています。（とこわか運動登録件数 1月31日時点：745件）

これまでは、機運醸成に向けた取組を中心に実施していただいております。今後は、おもてなしにつながる多くの取組が実施されるよう、市町や競技団体等と連携し、県民の皆さんに働きかけていきます。

5 両大会全般にわたる感染症対策について

来訪者には安心して三重を訪れていただき、県民の皆さんには安心して来訪者をお迎えしていただけるよう、引き続き、より実効性のある感染防止対策となるよう検討を続け、適時適切に見直しを行いながら、対応してまいります。

